

研究・調査報告書

報告書番号	担当
184	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Onset drinking: how it is related both to mother's drinking and mother-child relationship 飲酒の開始時期：母親の飲酒および母子関係とどのように関連しているか	
執筆者	
Lo CC, and Cheng TC.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Subst Use Misuse. 2010;45:888-900.	
キーワード	
飲酒の開始時期、母親の飲酒、母子関係、イベント履歴分析、青年期、縦断研究	
要旨	
目的： 10代若年者の飲酒の開始時期と、確実に断定できたリスクおよび家族特性から得られた保護的な要因について、関連を調査することである。	
方法： Employing the National Longitudinal Survey of Youth (NLSY) は10代の若年者およびそれらの母親の対象者からなる。イベント履歴分析および離散間隔生存分析を用いて、6331組以上を含むデータの分析を行った。	
結果： 友人の影響および母親の毎日の飲酒が、若年者の10から14歳での飲酒開始のリスクを高めていた。また母子関係の質が飲酒時期を遅らせる重要な保護的な要因であった。	
結論： 友人の影響および母親の飲酒が若年者の飲酒リスクを高め、また母子関係の質が飲酒時期を遅らせる保護的な要因であった。	